

開催概要/出展者・来場者数

名称	nano tech 2025 第24回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
日時	2025年1月29日(水)~1月31日(金)10:00~17:00
会場	東京ビッグサイト東4・5ホール
テーマ	イノベーションで未来のビジネスを拓く Bridge to Future Business: Innovating Nanotechnology

同時開催展



来場者数(同時開催展合計)

42,089名

オンライン期間終了後
3月上旬発表

※オンライン参加含む総来場登録数

うち東京ビッグサイト来場者

開催日	天候	来場者数
1/29(水)	☀️	12,396名
1/30(木)	☀️	14,241名
1/31(金)	☀️	15,452名
3日間合計		42,089名



出展者数(nano tech 単独)

出展者数

394 団体

国内:329 / 海外:65

小間数

478 小間

国内:434 / 海外:44
4,212.9㎡

参加国

16 개국

アメリカ、イギリス、オーストリア、カナダ、シンガポール、スイス、タイ、ドイツ、トルコ、フランス、ベルギー、マレーシア、韓国、台湾、中国、日本

nano tech 大賞 2025

nano tech 大賞とは

最優秀出展者として「nano tech大賞」および優秀出展者として各「部門賞」を下記の評価基準でnano tech 実行委員が審査を行い決定します。

評価基準

1. 先進性・独創性

- 技術開発の着眼点、アイデア、新規性・独創性の有無
- 基礎基盤技術、主要構成部分の技術、周辺技術、または実用化技術の確認
- 将来期待できる潜在的な効果または事業化有望性の有無

3. その他

- 環境保全性、安全性に関し工夫した点、または配慮されている点

2. 商品性・市場性・経済性

- 商品化企画についてニーズへの適合性
- ビジネスモデルの新規性または優位性
- 販売実績（実績データ等）、実績がないものは販売計画（予定時期、数量、価格等）

受賞各社と受賞理由

1. nano tech大賞 先進性/実用性/事業性などが総合的に優れており、社会/産業的な貢献も期待できる製品・技術

TOPPANグループ（小間番号: 4B-10）

半導体の最先端2nm EUV光反射型フォトマスクや3D細胞培養技術を開発するなど、長年蓄積した印刷テクノロジーで産業社会基盤の技術革新に貢献している点を賞す。



nano tech 大賞 2025

受賞各社と受賞理由

2. マテリアル賞 上記大賞に準じる製品・技術のうち、特に優れているナノ材料技術・製品

扶桑化学工業 (小間番号: 4K-23)

純度99.9999%の超高純度コロイダルシリカをベース材料として、比誘電率2.0の中空シリカを高周波用基板向けの低誘電材ファイバー用途等に展開している点を賞す。



3. アナリティクス賞 上記大賞に準じる製品・技術のうち、特に優れている計測・評価・分析技術・製品

ボールウェーブ (小間番号: 4L-03-04)

直径3.3mmの超小型ボールSAWセンサーを開発し、極微量水分計や手のひらに載る小型軽量のガスクロマトグラフィ装置として実用化した点を賞す。



日本電子 (小間番号: 4F-22)

使いやすさを追及した卓上型SEMや、自動観察・分析機能、自動校正機能を搭載したSEMなど、産学連携プロジェクト等を通じてユーザーフレンドリーな計測装置を開発している点を賞す。



4. ナノプロセス賞 上記大賞に準じる製品・技術のうち、特に優れているナノ加工技術・製品

Sotas (小間番号: 4F-03)

化学業界に特化したデータサービスの提供、「生産実績の分析」「化学法規対応」などを取り込み、化学系企業の生産性の向上・経営の効率化に貢献している点を賞す。



5. 産学連携賞 産・学の連携によって高度な技術開発が行われ、その事業化が有望視されるもの

NIMS&文科省マテリアル戦略関連事業 (小間番号: 4W-10)

共同出展者：NIMS / マテリアル先端リサーチインフラ (ARIM) / データ創出・活用型マテリアル 研究開発プロジェクト (DxMT) / NIMSデータ中核拠点 (MDPF) / NIMSマテリアライズ / 東北大学マテリアライズ

文部科学省のもと、材料科学を革新するプロジェクトをオールジャパンで進行させNIMSをハブとして産学連携を強化し、材料科学の新たな可能性を開拓している点を賞す。



6. 特別賞 海外出展者を対象とした特別賞

Deep Tech Canada (小間番号: 5U-02)

シリコン量子ドットはじめ様々な分野で基礎から応用研究、スタートアップ創出、国際研究を推進しているカナダの量子技術関連17組織の革新性を賞す。



7. GX賞 グリーントランスフォーメーションに貢献する技術

東レ (小間番号: 4F-13)

ナノテクとグリーンとの融合により多様な環境対応材料を展開し、とりわけ最先端半導体向けPFASフリーのモールド離型フィルムを実用化し、半導体製造の稼働率向上に貢献した点を賞す。



セミナー一覧

https://unifiedsearch.icdbizmatch.jp/nanotech2025/jp/sem/nanotech_mems

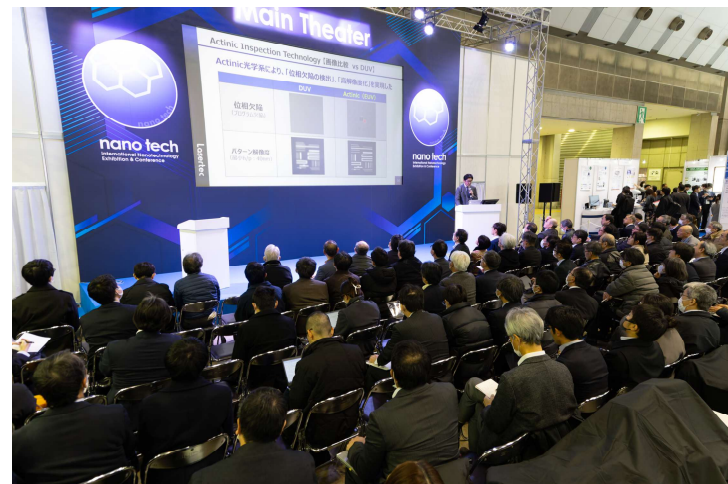
1月29日 (水)

メインシアター 東4ホール	
1月29日 (水)	
[nano tech 特別シンポジウム] 事前登録制	
ナノテクノロジーが最先端半導体を先導する	
9:30-10:00	半導体製造用EUV/DUV光源開発の現状 溝口 計 氏 九州大学 プラズマ・ナノ界面工学研究センター 客員教授
10:00-10:30	EUVレジスト材料の最近の進捗と今後の展望 藤森 亨 氏 富士フイルム エレクトロニクスマテリアルズ開発センター シニアエキスパート
10:30-11:00	EUV用フォトリソの最近の進捗と将来展望 小嶋 洋介 氏 テクセンドフォトリソ 研究開発部 統括部長
11:00-11:30	最先端テクノロジーを支える検査・計測技術 神山 弦一郎 氏 レーザテック 第1ソリューションセールス部 マネージャー
[nano tech 特別シンポジウム] 事前登録制	
ナノテクノロジーが化粧品の新なる可能性を広げる	
11:45-12:15	エマルション界面の最新分析技術 酒井 健一 氏 東京理科大学 創薬工学部先端化学科 教授
12:15-12:45	心臓よさとしわ改善効果を両立させる新なるαゲル乳剤技術 日吉 淳也 氏 養生堂 からい開発研究所 研究員
12:45-13:15	肌や髪のお悩みを“自己組織化”でアプローチ 志賀 紀仁 氏 日産化学 化粧品事業部ファンケミカル営業部 課長
13:15-13:45	浸透持続型ナノカプセルを活用した機能性化粧品の開発 笹井 慶子 氏 ホソカワミクロン マテリアル事業本部 製薬・美容科学研究センター 製薬・美容科学研究センター長
NBCI 主催メインシアター講演	
14:00-14:10	テーマ「NBCI活動紹介」 高瀬 一郎 氏 ナノテクノロジービジネス推進協議会 事務局長
14:10-14:45	テーマ「TOPPANグループの事業ポートフォリオの変革に向けた取り組み」 原口 崇 氏 TOPPANホールディングス 事業開発本部 総合研究所 所長
[nano tech 特別シンポジウム] 事前登録制	
ナノテックで加速する量子技術イノベーション	
15:00-15:25	日本の量子産業の創出・発展に向けた推進方策について 佐藤 彰洋 氏 内閣府 科学技術・イノベーション推進事務局 政策企画調査官 (量子・マテリアル担当)
15:25-15:50	量子技術の産業化に向けたグローバルエコシステムの構築 堀部 雅弘 氏 産業技術総合研究所 量子-AI融合技術ビジネス開発グローバル研究センター(G-QIAI) 前センター長
15:50-16:15	誤り耐性量子コンピュータをめざして 北川 勝浩 氏 大阪大学 量子情報・量子生命研究センター センター長
16:15-16:40	ダイヤモンドを用いた量子センシング・イメージング 水落 憲和 氏 京都大学 化学研究所 教授

シーズ&ニーズセミナー A 東4ホール	
1月29日 (水)	
特別シンポジウム 事前登録制	
[MEMS・半導体次世代テクノロジーフォーラム]	
10:15-10:45	半導体・デジタル産業戦略の現状と今後 清水 英路 氏 経済産業省 商務情報政策局情報産業課 デバイス・半導体戦略室長
10:45-11:15	MEMS × エッジ処理チップ一体化で広がるアプリケーション 下山 勲 氏 富山県立大学 学長
11:15-11:45	センシングシステムの研究開発動向 吉田 学 氏 産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター 副研究センター長
11:45-12:15	0-100vol.%で高精度・高信頼性を実現したMEMS水素センサが切り拓く水素社会 赤坂 俊輔 氏 京セラ 基幹技術研究開発部 技術主幹
出展者セミナー	
12:30-13:15	より高粘度・大流量循環運転に対応した最新ヒートミルによるナノ分散について 中島 夏 氏 アンザワファインテック
13:30-14:15	YEUNGNAM UNIVERSITY
台湾パビリオンの展示	
14:30-15:15	台湾パビリオン 1. A comprehensive surface-enhanced Raman scattering (SERS) platform for antibody / antigen free biomedical detection by 国立中央大学 2. 分子指紋と顔認識を組み合わせた高速スクリーニングシステム: Triple-Fの総合ソリューション by 佐信科技有限会社 3. 量産化されたナノプロブ先端およびナノ粒子による超低濃度ターゲットの迅速検出を実現 by 株式会社ナノビー 4. 疾病早期検出するバイオチップによる医療診断の革新 by 砂基分子電測科技股份有限公司 5. Nano gold catalyst: Fuel Saving, Reduce Black Exhaust Smoke by STRONG NANO TECH CO.,LTD. 6. Micronics - A New Platform for Flexible Devices by 国立清華大学
15:30-16:15	大面積メタサーフェスに向けた電子線リソグラフィのVSB/CP法によるNanogapの作製 肥後 昭明 氏 東京大学 大学院工学系研究科 特任講師



シーズ&ニーズセミナー B 東4ホール	
1月29日 (水)	
スタートアップ・大学研究室パビリオン ピッチ	
10:30-10:45	ALDジャパン
10:45-11:00	ボールSAWセンサの社会実装 赤尾 慎吾 氏 ボールウェア
11:00-11:15	有機色素の簡便な複合化・組織化による“顕光”利用キャビティが可能にするセンサー・ウェアガイド・レーザー 林 正太郎 氏 高知工科大学 理工学部 教授
11:15-11:30	多元素酸化物触媒の革新的常温常圧合成 藤田 武志 氏 高知工科大学 理工学部 教授
11:30-11:45	ノーマスキング可能な薄膜形成用マイクロスプレー塗布システム FSC06 マイクロスプレーコーター の新しい流体力学 島田 隆治 氏 Shimada Appli
11:45-12:00	廃棄物・植物活用生分解性バイオプラスチック HEMIX™ のご紹介 茄子川 仁 氏 ヘミセルロース
12:00-12:15	AI ナノ粒子画像解析ソフトウェア「AIPAS」[見える粒度分布計]とも評価される新しい精密画像解析ソフト100万以上の粒子を学習したAIモデルを搭載。二値化が歯が立たない粒子画像解析がつかいに可能に! 中尾 悠基 氏 BLUE TAG 事業開発部 チーフエンジニア
12:15-12:30	研究開発を加速するシェアリングプラットフォーム「コロバメーカー」 吉谷 優賢 氏 Co-LABO MAKER



シーズ&ニーズセミナー B 東4ホール	
1月29日 (水)	
出展者セミナー	
12:45-13:15	ナノ秒紫外レーザー誘起ナノドット構造を付与した機能性材料 草場 光博 氏 大阪産業大学 工学部 教授
[国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター] サイバーエコノミーに貢献する機能化学研究部門の取組み	
13:30-13:45	サイバーエコノミー社会の実現に向けた研究開発のご紹介 佐藤 浩昭 氏 産業技術総合研究所 中国センター 所長 機能化学研究部門 研究部門長
13:45-14:05	ナノセルロースで挑む材料のバイオマテリアル 藤原 圭太 氏 産業技術総合研究所 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 研究グループ長
14:05-14:25	プラスチックのマテリアルリサイクルにおける材料診断技術の重要性 渡邊 宏臣 氏 産業技術総合研究所 機能化学研究部門 有機材料診断グループ 研究グループ長
14:25-14:45	事業共創バイオものづくり 藤井 達也 氏 産業技術総合研究所 機能化学研究部門 バイオ変換グループ 研究グループ長
出展者セミナー	
15:00-15:30	材料開発の課題を根本解決する! マテリアルズ・インフォマティクスの活用シーン 國井 佳奈子 氏 MI-6
15:45-16:15	複雑化する構造/組成に柔軟に対応可能なX線顕微鏡 ZEISS VersaXRM 730 のご紹介 難古 宗徹 氏 カールツァイス



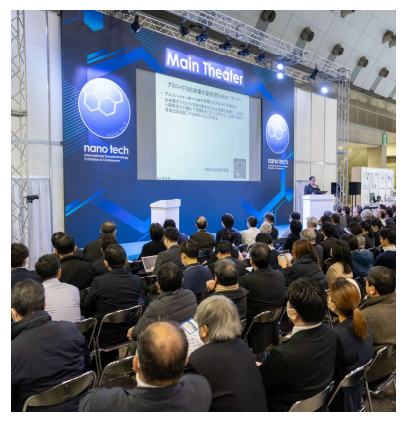
セミナー一覧

https://unifiedsearch.icdbizmatch.jp/nanotech2025/jp/sem/nanotech_mems

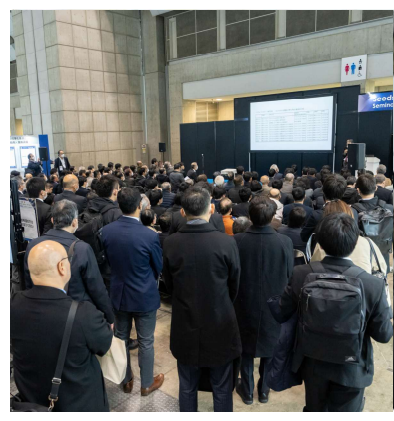
1月30日 (木)

メインシアター 東4ホール	
1月30日 (木)	
[nano tech 特別シンポジウム] 事前登録制 認知症：早期発見・診断の新展開～健康長寿社会実現への貢献～	
9:30-10:00	アルツハイマー病の疾患修飾療法 岩坪 威 氏 東京大学大学院医学系研究科神経病理学、国立精神・神経医療研究センター神経研究所 教授、所長
10:00-10:30	認知症診断の新たな展望：アミロイド病理における精密な血液検査の役割 星子 麻記 氏 C2N Diagnostics APAC Strategy & Scientific Collaboration Lead
10:30-11:00	細胞外小胞バイオマーカーによる次世代アルツハイマー病病理検出法の開発 アルツハイマー病の細胞外小胞バイオマーカー 福山 耕平 氏 北海道大学 産学・地域協働推進機構・先端生命科学研究所 特任准教授
11:00-11:30	認知症の原因となる異常タンパク質の構造と新規治療法について 長谷川 成人 氏 東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野 脳・神経科学研究分野長
11:30-12:00	早期アルツハイマー病に対する低出力パルス波超音波治療の開発 下川 宏明 氏 国際医療福祉大学 副大学院長
[NEDOセミナー] [CNF複合材料・部品・製品の市場拡大を目指して]～NEDO事業 炭素繊維社会に貢献するセルロースナノファイバー製造技術開発 成果報告会～	
13:10-13:30	セルロースナノファイバー(CNF)の安全性の確認と評価文書の公開 小倉 勇 氏 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 排出物解析グループ 研究グループ長 徳永 敏彦 氏 福井大学 ライフサイエンス支援センター生物資源部門 部門長
13:30-13:40	CNF配合高機能性樹脂「LUNAFLEX」、CNF配合水系防汚コーティング剤「LUNAFLOW」のご紹介 羽野 里奈子 氏 花王 テクノロジカル研究所 研究員
13:40-13:50	CNF強化ポリ塩化ビニル系樹脂複合体(CNF/PVC)の低コスト製造技術の開発 猪飼 隆二郎 氏 大洋塩ビ&プラスチック 大洋塩ビ 技術サービスグループ グループリーダー
13:50-14:00	CNF強化樹脂事業化に向けた開発 角田 惟緒 氏 日本製紙 富士革新材料研究所 主査
14:00-14:10	CNF複合ポリアミドの実用化に向けたUBEの取り組み 藤野 寛之 氏 UBE パフォーマンスポリマー&ケミカルズ事業部 大阪研究開発センター サステナブルマテリアルグループ 主査部長
14:10-14:20	CNF複合樹脂「ELLEX-R67」の製造プロセスの開発 今井 貴章 氏 大王製紙&芝浦機械 大王製紙 生産本部 新素材事業推進室 CNFグループ 課長
14:20-14:30	CNF複合材料の高効率生産プロセス開発と構造材料への適用検討 吉村 知章 氏 星光PMC R&D価値創生本部 アドバンストマテリアル部 複合材料担当 主任

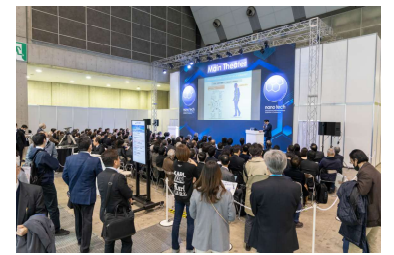
メインシアター 東4ホール	
1月30日 (木)	
[NEDOセミナー] [CNF複合材料・部品・製品の市場拡大を目指して]～NEDO事業 炭素繊維社会に貢献するセルロースナノファイバー製造技術開発 成果報告会～	
14:30-14:40	ウォータージェットが創る人と環境に優しいセルロースナノファイバー 小倉 孝太 氏 スズメテクノプラント機器事業本部 生産総括部 微粒装置部 新材料開発係 アシスタントマネージャー
14:40-14:50	ゴム製品の進化に貢献するTEMPO酸化CNFの技術開発 福川 秀也 氏 日本製紙 研究開発本部 富士革新材料研究所 CNF研究室II
14:50-15:00	水系プロセスによる熱可塑性炭素繊維強化樹脂へのCNF複合とスポーツ用品への応用 田和 貴輝 氏 炭素繊維第一工業製薬 第一工業製薬 研究本部研究カンパニー一部 レゾリス・スタステナブル材料グループ 主査
15:00-15:10	疎水化CNFを活用した高機能光硬化モノマーと接着剤の開発 高田 じゆん 氏 東芝化成 川崎フロンティアエスR&Dセンター 次世代材料研究所 主査
15:10-15:30	セルロースナノファイバー材料に関するライフサイクル思考 龍崎 市郎 氏 東京大学 先端科学技術研究センター 准教授
Deep Tech特別講演 事前登録制	
16:00-16:30	ディープレックスタートアップと死の谷 木場 祥介 氏 ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター 代表取締役パートナー



シーズ&ニーズセミナーA 東4ホール	
1月30日 (木)	
第6回ナノカーボンオープンソリューションフェア 特別講演	
10:30-11:15	CNTを使った熱電素子の社会実装に向けた取り組み 内田 秀樹 氏 日本ゼオン CNT研究所 所長
11:15-12:00	ペロブスカイト太陽電池モジュールの開発技術と社会実装の方向 富坂 力 氏 朝倉横浜大学 医学工学部臨床工学科 特任教授
12:00-12:15	高い透明性を有する次世代太陽電池～世界実装動向と国内応用への挑戦～ 新居 遼太 氏 GSIクレオス ナノテクノロジー開発室 室長補佐
出展者セミナー	
12:30-13:15	Accessing the European and UK Nanomaterials Markets: Costs, Insights & Navigating the Regulatory Challenges for Sustainable Access. Dr. Kai Paul Blue Frog Scientific Group Regulatory Consultancy: Nanomaterials Sumika Chemical Analysis Service Regulatory Consultancy
13:30-14:15	ユニークな粒度分布・ゼータ電位測定器を紹介！～希釈不要の粒度分布・ゼータ電位測定器、高分解能粒度分布測定器、粗大粒子の定量と識別に対応する粒子径測定器～ 銀田 英一 氏 昭光サイエンス
14:30-15:15	実験/解析データの利活用及びAI化を進めてR&Dに革新を！データ分析・AI活用を進める上で必要となる準備と環境 上島 豊 氏 キャルアイ・ワイエス 代表取締役
つばスタートアップ ピッチ	
15:30-16:15	樽林 哲也 氏 Nano Chemix 代表取締役 脇坂 昭弘 氏 日本導電繊維 代表取締役 永井 優 氏 有機ナノフレットロクス研究所 代表取締役 川島 勇人 氏 スペースフロン 代表取締役 杉林 直彦 氏 ナノブリッジ・セミコンダクター 代表取締役 川喜多 仁 氏 アキューゼ 代表取締役



シーズ&ニーズセミナーB 東4ホール	
1月30日 (木)	
出展者セミナー	
10:30-11:00	ナノ粒子に何が出来るか。ナノ粒子の可能性。 皆川 裕司 氏 日揮触媒化成 ファイン営業部 第二営業グループ グループマネージャー
ナノセルロースジャパン特別講演	
11:15-12:30	「脱炭素革新素材 CNFの技術開発におけるMIの活用最前線」～異分野技術融合による非連続型イノベーションが道を開く～ 渡邊 茂典 氏 ナノセルロースジャパン CNF部長 元内閣官房内閣審議官 北弘志 氏 コニカミルタ 技術顧問 先端素材高速開発技術研究組合 前理事長 木暮 基博 氏 MI-6 代表取締役 柏田 祥英 氏 カミ商事 開発企画部 部長代理 元東洋大学 生命科学部 教授・生命環境科学研究センター長 柳原 圭太 氏 産業技術総合研究所 材料・科学領域機器科学部 研究グループ長
出展者セミナー	
12:45-13:15	最先端の共同装置からのデータ収集とその利活用 開発DXに向けたARIMのチャレンジ 小出 康夫 氏 材料科学省 マテリアル先端リサーチインフラ 運営機構 機構長
13:30-14:00	「直感」をデータが加速する： AI×自動化で材料研究開発DXを加速する ラボオートメーション 中野 学 氏 MI-6
[国立研究開発法人産業技術総合研究所 中国センター] 中国地域が創出する地域イノベーション	
14:15-14:25	産総研中国センターにおける連携活動と地域連携 川崎 浩二 氏 産総研産業技術センター 次長(技術)
14:25-14:35	岡山県発！循環経済型の開発事例とは 村田 拓哉 氏 産総研産業技術センター 電子・有機材料研究所 有機材料グループ 主任研究員
14:35-14:45	天然由来ファイバー複合樹脂の開発 村田 拓哉 氏 産総研産業技術センター 電子・有機材料研究所 有機材料グループ 主任研究員
14:45-14:55	ナノセルロース化による農業副産物の新たな活用方法の創出：柿箱果皮の事例紹介 熊谷 明夫 氏 産総研産業技術センター 機能化学研究部門 セルロース材料グループ 主任研究員
14:55-15:05	カプセル化を用いた地域産材の高付加価値化 松澤 洋子 氏 産総研産業技術センター 機能化学研究部門 総括研究主幹
15:05-15:15	山口県産業技術センターで開発した環境・エネルギー機能材料 前英雄 氏 山口県産業技術センター 技術支援部長
15:15-15:25	「プラズマ処理を交えた「マイルドプラズマ」」 今若 直人 氏 鳥取県産業技術センター 有機材料科 科長
出展者セミナー	
15:45-16:15	AI新時代の研究データ蓄積に革命を起こす、逆転の発想による現場Excelのデータ化 永田 竜哉 氏 ダイキン工業



セミナー一覧

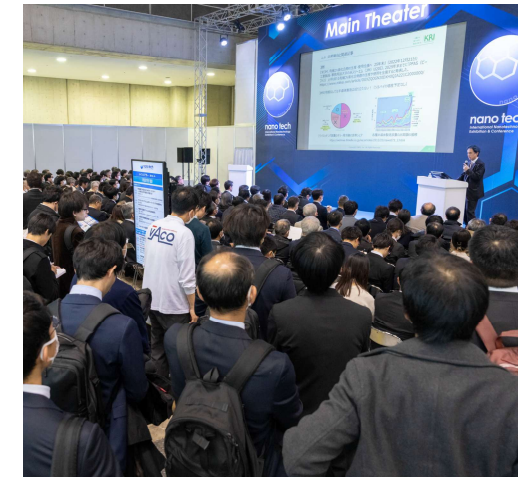
https://unifiedsearch.icdbizmatch.jp/nanotech2025/jp/sem/nanotech_mems

1月31日 (金)

メインシアター 東4ホール	
1月31日 (金)	
【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制 持続可能な成長戦略：樹脂リサイクルの戦略的活用	
9:30-10:00	EUサーキュラーエコノミー政策が推進するプラスチックリサイクルの新フェーズ 喜多川 和典 氏 日本生産性本部 エコ・マネジメント・センター センター長
10:00-10:30	ガラス繊維強化PPS樹脂のリサイクル技術と資源循環への取り組み 堀内 俊輔 氏 東レ化成品研究所 研究主幹
10:30-11:00	難燃再生ポリカーボネート (SORPLAS) の特徴と今後の展開 栗山 晃人 氏 ソーセミコンダクターソリューションズ システムソリューション事業部 SORPLAS事業室 ケミカルエンジニア
11:00-11:30	樹脂添加剤技術を用いたマテリアルリサイクルへの取り組み 石川 慎一 氏 ADEKA 樹脂添加剤開発研究所 所長
出展者セミナー	
11:45-12:30	材料提案力を高めるためのキーファクター～AI時代における魔の川の渡り方～ 小澤 俊一 氏 Preferred Computational Chemistry 技術営業部 取締役 技術営業部長
13:00-13:15	ケミカルリサイクルによるスーパーエンプラの再原料化 南 安規 氏 産業技術総合研究所 触媒化学融合研究センター 主任研究員
13:15-13:30	車載用大型調光フィルムの社会実装研究 田嶋 一樹 氏 産業技術総合研究所 ナノ材料研究部門 接着界面グループ長
13:30-13:45	木質素材の微細構造制御による高機能・高耐久化 阿部 充 氏 産業技術総合研究所 マルチマテリアル研究部門 主任研究員
14:00-14:45	nano tech 大賞受賞式
【nano tech 特別シンポジウム】 事前登録制 PFAS規制、影響を受ける用途、及び代替技術の動向	
15:00-15:30	PFAS規制の概要とその影響を受ける用途分野、及びフッ素フリー型表面処理材の設計について 福井 俊巳 氏 KRI 執行役員 (スマートマテリアル研究センター/先進技術調査担当)
15:30-16:00	PFASの物性理解に欠かせない炭化フッ素鎖の考え方 長谷川 健 氏 京都大学化学研究所 教授
16:00-16:30	先端有機フッ素化合物の穏和な条件での分解・再資源化 堀久男 氏 神奈川大学 理学部 教授

シーズ&ニーズセミナーA 東4ホール	
1月31日 (金)	
出展者セミナー	
10:30-11:15	【リチウムイオン電池】電極スラリー/ドライ電極の完全連続生産 電極スラリーの大規模生産 完全連続式の混合技術 吉川 良平 氏 ビュラー 粉砕分散事業部 部長
11:30-12:15	実験/解析データの利活用及びAI化を進めてR&Dに革新を! データ分析・AI活用を進める上で必要となる準備と環境 上島 豊 氏 キャトルアイ・サイエンス 代表取締役
12:30-13:15	吉田機械興業株式会社のメディアレス微粒化技術と応用事例のご紹介 湿式微粒化装置 [NanoVater] システムによるMLCC素材の分散事例と、混合・攪拌 [ダマトリ] システムによるグリーンシート材料の混合事例 (予定) 西田 智 氏 吉田機械興業 NT事業部 NT東日本 統括
【NEDOセミナー】 資源の安定確保に貢献する技術開発の最前線	
13:30-13:45	マイクロ波を活用した革新的な金属還元プロセスの開発 大川 裕也 氏 フイヤ金属 研究統括部 素材研究室 課長代理
13:45-14:00	濃縮海水を原料とするMgのグリーン新製錬技術開発の目的と研究成果 竹中 俊英 氏 関西大学 化学生命工学部 教授
14:00-14:15	窒素ベースガス田における高効率ヘリウム膜分離回収技術の開発 永野 孝幸 氏 ファイネセラミックスセンター 材料技術研究所 機能性材料グループ 特任主任研究員
【NEDOセミナー】 IoT社会実現のための革新的センシング技術開発! 成果報告会 ～革新的な製品・サービスの創出を後押しする基盤技術開発～	
14:30-15:15	センサの設置環境に合わせたセンシング信頼性評価技術の開発 福田 伸子 氏 産業技術総合研究所
14:30-15:15	量子技術とワイヤレス校正技術が実現するセンサの信頼性担保の新たな仕組み 鶴田 修一 氏 大阪大学 助教
【NEDOセミナー】 車体接着の長期安定化 ～モビリティ軽量化と資源循環の礎のために～	
15:30-16:15	寺崎 正 氏 産業技術総合研究所 センシングシステム研究センター 4Dビジュアルセンシング研究チーム長

シーズ&ニーズセミナーB 東4ホール	
1月31日 (金)	
出展者セミナー	
10:30-11:00	新製品「Partica」、遂に登場! 動的画像解析とレーザ回折を1台で実現。最新情報をお届け! 尾崎 晋 氏 堀場製作所
11:15-11:45	深海インスパイアード化学: 深海に着想を得たナノテクノロジーの新展開 出口 茂 氏 海洋研究開発機構
12:00-12:30	マテリアルDXのためのソフトウェアソリューション シミュレーションとデータサイエンスの連携 小沢 拓 氏 JSOL エンジニアリング事業本部 部長
12:45-13:15	デジタルツインとミクロシミュレーションで実現する材料開発DX 染谷 和 氏 SCSK デジタルエンジニアリング事業本部 プロダクト技術部
ナノセルロースジャパン特別講演	
13:30-14:00	セルロースに関する特許と展示会から見える業界動向 西村 拓也 氏 静岡大学 農学部 特任教授 トヨタ車体 材料技術部 主査
出展者セミナー	
14:15-14:45	塗料開発におけるmiHub®のユースケース～ペイス最適化の活用を中心にご紹介～ 大山 俊治 氏 MI-6
15:00-15:30	材料計算とMIで実現するデジタル材料開発の最新トレンド 金子 貴大 氏 SCSK デジタルエンジニアリング事業本部 プロダクト技術部
15:45-16:15	大阪大学におけるナノ科学技術の研究 岡本 稔 氏 大阪大学 マテリアル先端リサーチインフラ設備共用拠点

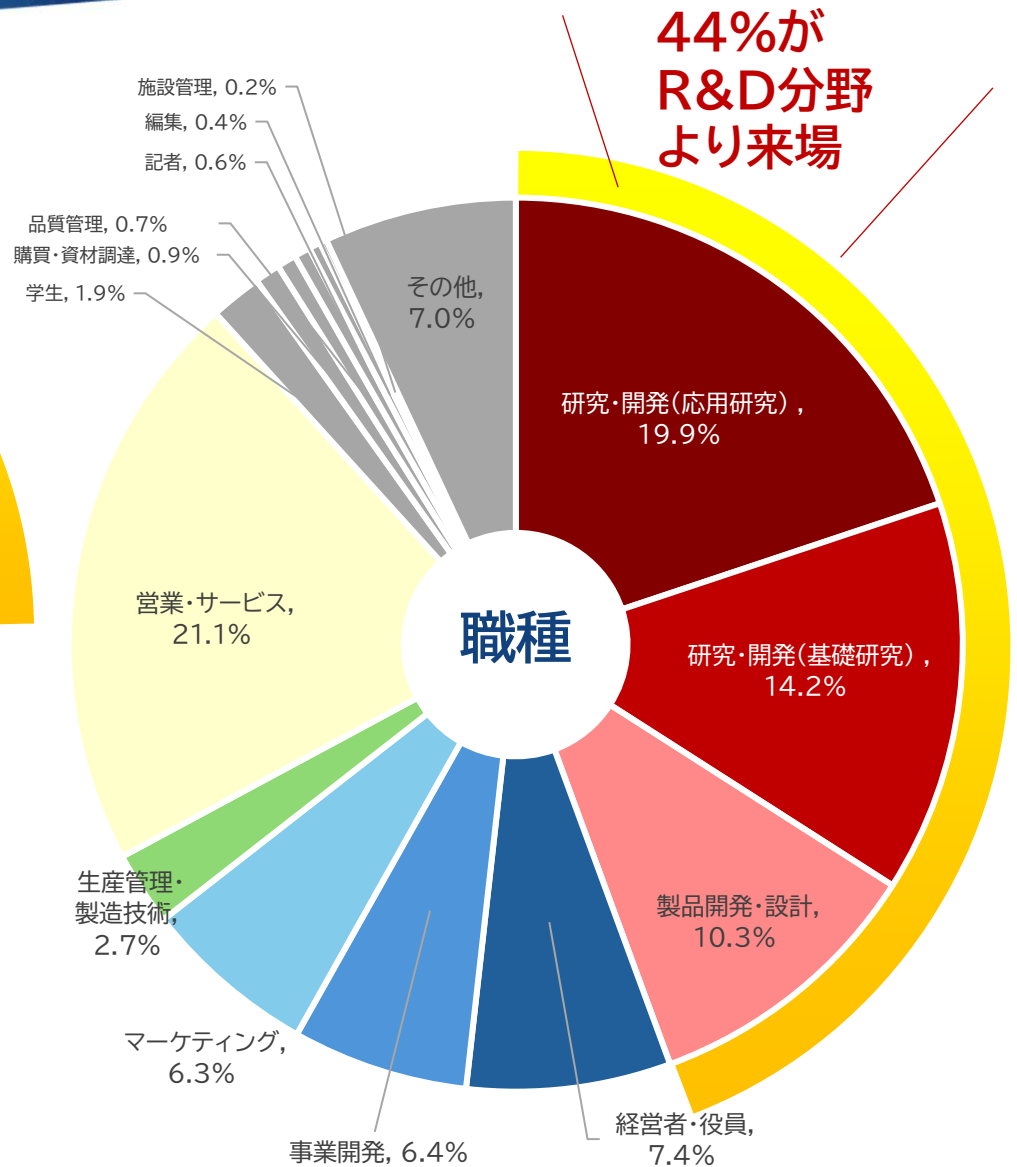
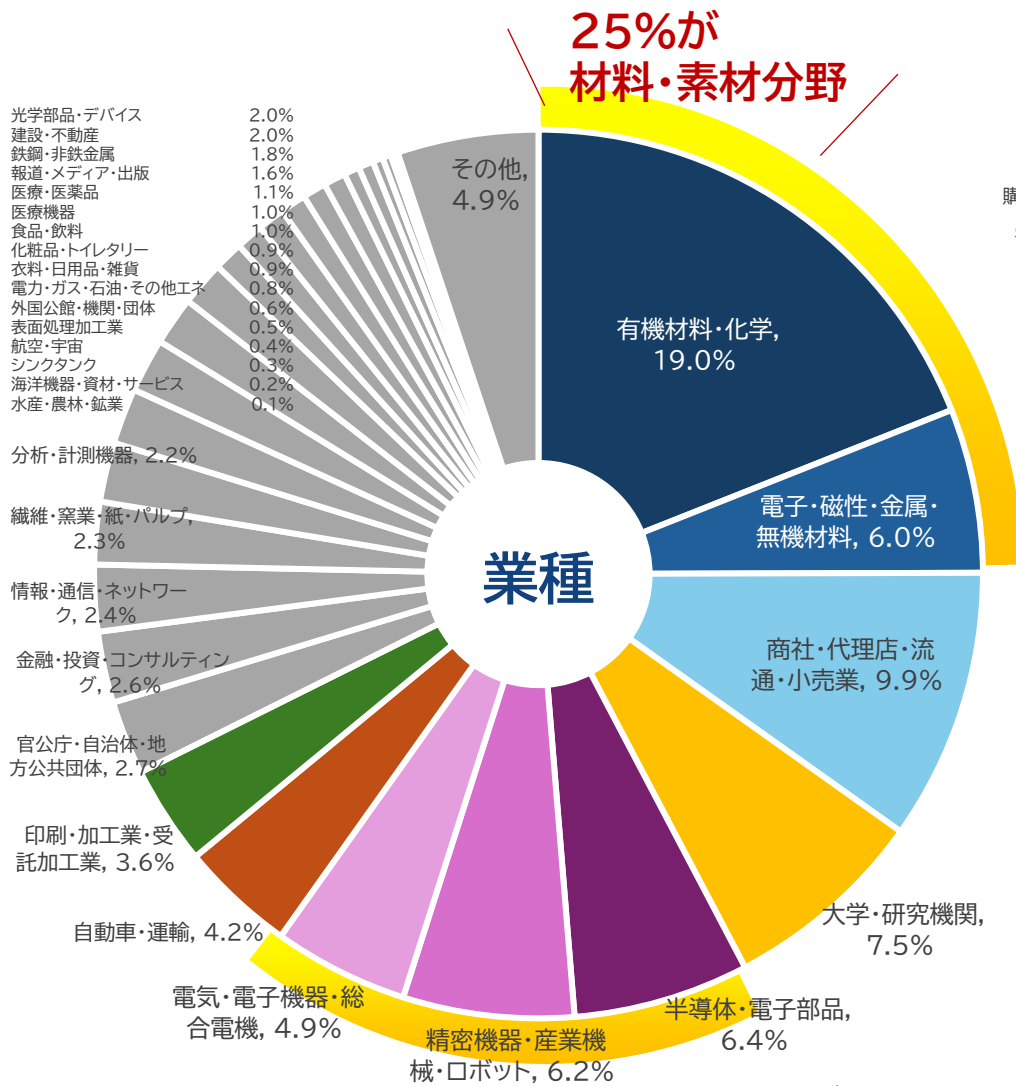


会場レイアウト

https://www.nanotechexpo.jp/main/pdf/nanotech2025_floormap_j.pdf



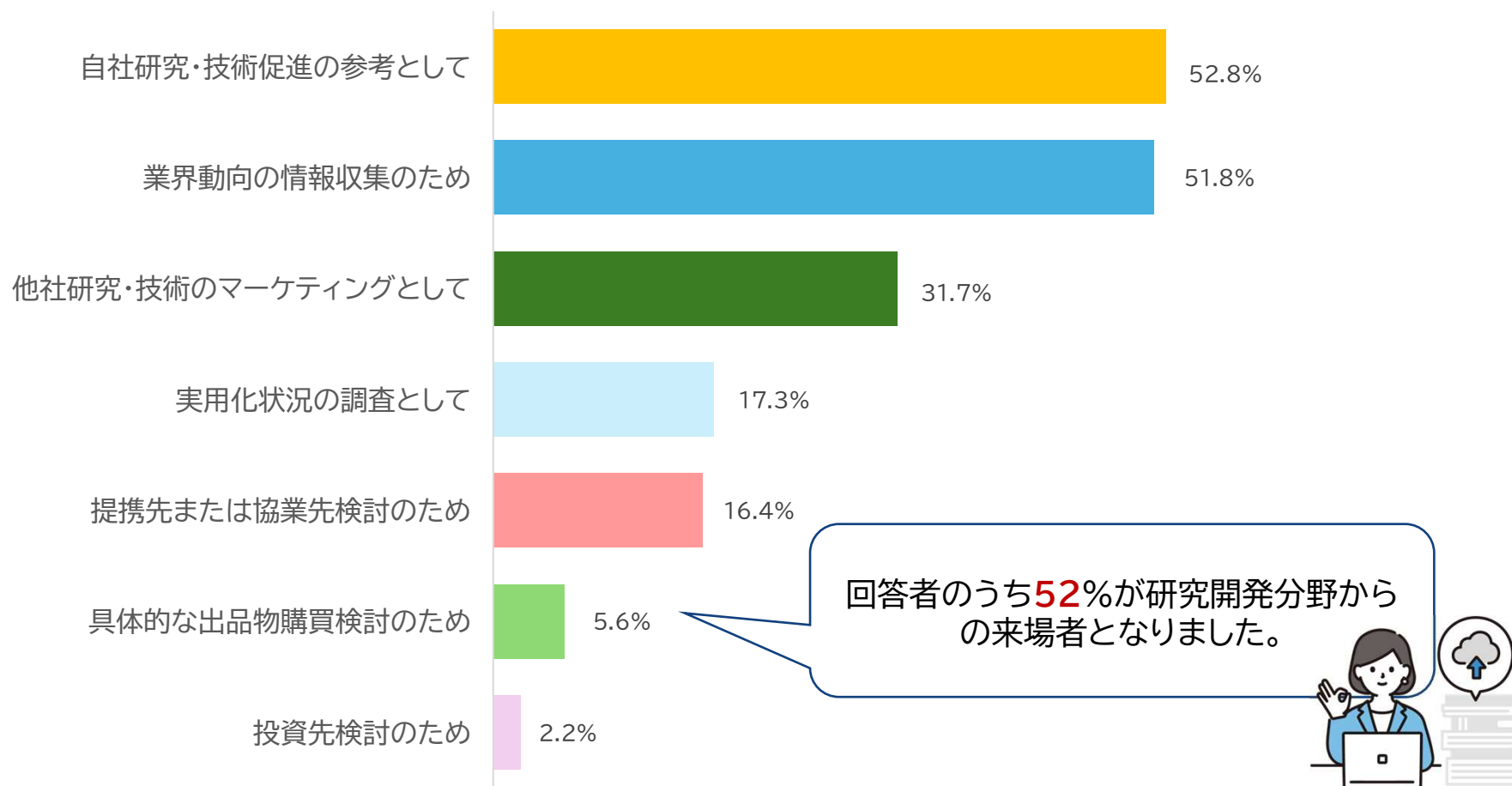
来場者分析（業種・職種） 東京ビッグサイト来場者



18%が半導体・精密・エレクトロニクス分野

来場者分析（来場目的）

自社研究に向けた、技術を探している来場者が5割以上



広報（主催者発信・広告・記事掲載/出展者向け広報ツール）

主催者発信ツール

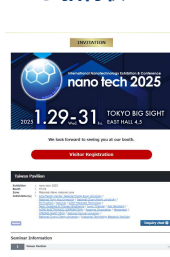
来場案内 100,000 部以上

発送のほか出展者毎に発行できる“e-来場案内”でどこからでもアクセスできるようにしました

来場案内



e-招待状



出展者取材特集 Nano Insight Japan

新出展者や注目の出展製品・技術について事前取材、ブース来場を促進しました



事務局メルマガ 63,000 名

会期前・会期中・会期後に発信し、来場動員に寄りました。(平均:毎日、会期1週間前には毎日2回ペース)



プレスリリース

記者発表日と会期1週間前に発行、公官庁やPR TIMESで公開し、同時開催展覧情報をプレスに発信することで出展者ブース取材へと導きました



広告/記事掲載

読者層に合わせた広告を展開。紙誌媒体のほかデジタルでは、Youtube・Google P-Maxを展開しました



日刊工業新聞・日経産業新聞・化学工業日報・科学新聞社・エヌ・ティー・エス・Q-Mail・イーエクスプレス・イプロス・日本の研究.com・Google P-Max など

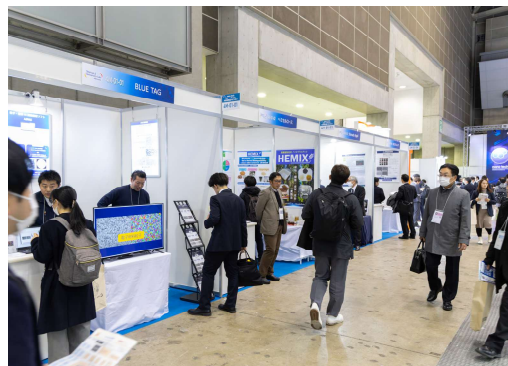
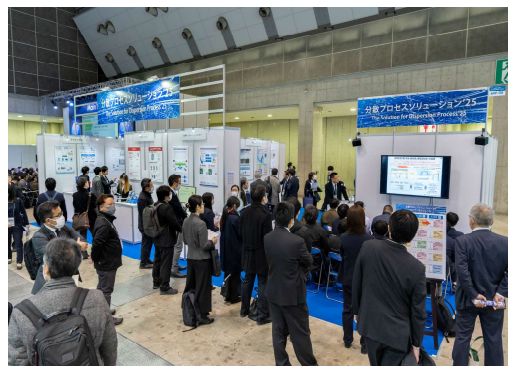
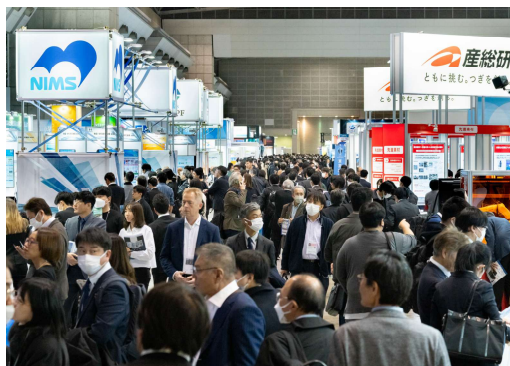
プレス来場 約300 名

広報ツールを準備

出展者さま向けにフリー広報ツールをご提供し出展者さまによる出展PRを行っていただきました



当日の様子 一部抜粋



次回展 nano tech 2026のご案内

詳しくは事務局まで：
nanotech@jtbcom.co.jp




nano tech
 International Nanotechnology Exhibition & Conference
 第25回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

出展案内

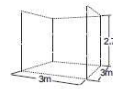
会期：2026年1月28日(水)～30日(金)
会場：東京ビッグサイト西・南ホール&会議棟

Jtb Communication Design

出展要項

● 出展料

一般	¥418,000(税込)/380,000(税別)
独法・公的機関・協会・団体 (日本国内に住所を有する団体・組織のみ)	¥319,000(税込)/290,000(税別)
大学	¥209,000(税込)/190,000(税別)



出展料には以下が含まれています。
出展スペース1小間＝9m(開口3m)×奥行3m
 ※隣接する小間がある場合は、事務局側で仕切りパネル(高さ2.7m)も設置します。但し、角小間の場合、通路側のパネルはつきません。
 ※空調・電気・通信回線等の工事費および使用料は付帯しておりません。
 ・製品情報(資料・画像・動画)掲載
 ・上記に掲載した資料・画像の閲覧者データの取得・集約案内(招待状)

● 参考価格



展示台(引付戸あり)	W900×D700×H750	2台	
受付カウンター	W900×D450×H930	1台	
パネル	H300	1式	
名簿	ゴシック新ゴ文字	W1200×H200	1枚
パイプイス		3脚	
カタログスタンド	(6段)	1台	
背もたせ		1ヶ	
ゴミ箱		1ヶ	
床面カーペット	カーペット留め込み	9㎡	
スポットライト	100W	3灯	
コンセント	2口(700Wまで)	1ヶ	
幹線工事	電気使用料込み	1kW	

1小間パッケージプラン **¥143,000(税込)～**
※2小間・3小間用アップグレードプランもございます。
 ※申込先は、主催者指定施工会社となります。

出展者プレゼンテーション

● メインシアタープレゼンテーション

会場	オープン形式 シアター 120席 (予定)
料金	1セッション 45分 ¥275,000(税込)

● シーズ&ニーズセミナー

会場	オープン形式 シアター 100席 (予定)
料金	1セッション 45分 ¥165,000(税込) 1セッション 30分 ¥110,000(税込)

■ 料金に含まれるもの

- ・プレゼン用スクリーン&プロジェクター
- ・音響機材一式(マイク2本、スピーカー)

■ 申込方法

- ・お申込は先着順にて受け付けます。
- ・発表日時は先着順にてご案内いたします。
- ・同時申込をご希望の方は事務局まで別途ご相談ください。

プロモーションメニュー

- 出展者特集記事 **料金 ¥330,000(税込)**
- 公式ホームページロゴ掲載 **料金 ¥440,000(税込)**
- 主催者発行メルマガでのテキスト広告 **料金 ¥55,000(税込)～**
- 検索ページ上位表示プロモーション **料金 ¥220,000(税込)**

※ほかにも広聴プランをご用意しております。

申込方法・スケジュール

nano tech公式ウェブサイトの出展申込フォームよりオンラインにて受付いたします。
 主催者が出展申込を受領した時点をもって、出展の契約が成立となります。
 仮申込をした場合、2025年8月1日以降本申込への自動切替えとなります。

- 1 申込締切日：**2025年9月30日(火)
※但し、締切前でも予定の小間数に限り次第締切しますので、お早めにお申込みください。
- 2 出展料のお支払い：**出展本申込後、請求書を発行いたします。
 請求書記載の指定日までに、出展料を指定口座へお振込みください。
- 3 出展申込の取消：**出展本申込後の取消は原則として出来ません。但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、出展規約の基準で解約料を申し受けます。



nano tech HP



オンライン申込



資料請求



規約

2025年 1月 15日(水) 出展申込開始	7月 31日(木) 仮申込有効期限	9月 30日(火) 本申込締切	10月 出展者説明会 (予定)	12月 各種提出書類 締切	2026年 1月26日(月)、27日(火) 鑑入・設営期間 1月28日(水)～30日(金) 展示会会場
---------------------------------	-------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------------	---

連絡先 nano tech 実行委員会事務局 / (株) JTBコミュニケーションデザイン内
 〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング
 TEL:03-5657-0760 FAX:03-5657-0645 E-mail:nanotech@jtbcom.co.jp

Jtb
Communication
Design